

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2018年9月20日（木）16：00～17：30

会 場：ホテルサンルート徳島 2F The AWA Oriental Dining TOKUSHIMA

出席者：山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長、島津 章、岡本高宏、吉本勝彦、田辺晶代、
屋代 隆、方波見卓行、菅間 博、戸田修二、近藤哲夫の各理事、井下尚子 監事、
西岡 宏、高野幸路 次期理事候補

欠席者：加藤良平、松野 彰の両理事（委任状あり）、柴田洋孝 監事、中村保宏 次期理事
候補、佐藤文俊 次期監事候補、長村義之 顧問

同席者：事務局

議題：

I 評議員会・総会と共通の議題

<評議員会・総会の審議事項>

1. 役員改選、新体制の理事役職等の件（4月理事会承認済事項、報告事項を含む）
2. 2017年度決算及び監査報告の件
3. 2018年度決算見込及び2019年度予算の件
4. 次次次期（第25回、2021年度）学術総会会長候補者の件
5. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

<評議員会・総会の報告事項>

6. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（4月理事会承認済）
7. 第22回（2018年度）学術総会研究賞の件
1) 研究賞選考委員（4月理事会承認済） 2) 研究賞受賞者
8. 第23回（2019年度）学術総会の予告

II 理事会のみの議題

<報告事項>

9. 学会ホームページへの企業バナー開設のその後
10. 第93回（2020年度）JES学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について
11. 会費長期未納者の取り扱いについて
12. コンサルテーションの現状について

III その他

13. 第95回（2022年度）JES学術総会会長の推薦について

冒頭、山田理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 役員改選、新体制の理事役職等の件

- ・ 山田理事長より、2018年1月の理事選挙において次期の選挙選任理事候補者6名が選出されたこと、4月理事会において次期理事長として笹野公伸 副理事長が選出され、同次期理事長により、理事長推薦理事候補者3名、理事長推薦監事候補者1名が選抜された

こと、が報告された。

1) 理事

- ✓ 選挙選出理事 6 名：笹野公伸（東北大）、菅間博（杏林大）、方波見卓行（聖マリアンナ医大）、松野彰（帝京大）、岡本高宏（東京女子医大）、高野幸路（北里大）
- ✓ 2 期目再任理事 4 名：近藤哲夫（山梨大）、田辺晶代（国立国際医療研究センター病院）、吉本勝彦（徳島大）、戸田修二（佐賀大）
- ✓ 理事長推薦理事 3 名：西岡宏（虎の門病院）、中村保宏（東北医科薬科大）、柴田洋孝（大分大）

2) 監事

- ✓ 現監事：井下尚子（虎の門病院）、理事長推薦監事：佐藤文俊（東北大）
- ・ 以上の選挙選出理事、2 期目再任理事、理事長推薦理事ならびに理事長推薦監事 1 名、計 14 名の候補者が報告され、明日の評議員会、総会に諮ることが全会一致で承認された。
- ・ また、下表に示す新体制の理事役職等が理事会で合意された。

理事長	笹野公伸
副理事長	方波見卓行
財務理事	○吉本勝彦、西岡 宏
庶務理事	○田辺晶代、中村保宏
広報理事	○松野 彰、高野幸路
企画学術理事	○岡本高宏、菅間 博、柴田洋孝
渉外理事	○戸田修二、近藤哲夫
監事	井下尚子、佐藤文俊
顧問	長村義之、山田正三

（2018 年総会日～2020 年総会日） ○：筆頭理事

2. 2017 年度決算及び監査報告の件

- ・ 島津財務担当理事より、収入の部において、寄付金収入がなかったことから、収入総額は予算額を約 11 万円下回ったこと、一方、支出の部において、新規事業への補助金が発生しなかったことにより、支出総額は予算額を約 25 万円下回ったこと、その結果、当期収支差額は黒字決算となったこと、使途限定金（佐野賞基金・亀谷賞基金・学術集会繰入金収入）を差し引いた 2017 年度末の純繰越金額は 400 万円弱となったことが報告された。
- ・ 次に、第 21 回田辺会長（庶務担当理事）より、学術総会の決算の内容が説明された。
- ・ 引き続き、井下監事から、上記 2 件について柴田監事と監査を行った結果、2017 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があった。
- ・ 以上の審議の結果、2017 年度決算は全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

3. 2018 年度決算見込及び 2019 年度予算の件

- ・ 島津財務担当理事より、2018 年度見込みに関し、収入の部においては、バナー広告費の

納入により当期収入合計が予算を上回ること、支出の部においては、新規事業への補助金が発生せず、当期支出合計は予算を下回ること、その結果、当期収支差額は約 24 万円の黒字決算なるとの見込みが報告された。使途限定金を差し引いた純繰越金額は前年度より約 32 万円の増加が見込まれる。

- 引き続き、同理事から、2019 年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2018 年度予算及び見込を踏襲して予算を計上するものの、日本内分泌学会への人件費支払増額による影響で、当期収支差額は約 27 万円の赤字になると述べられ、この人件費増に伴う赤字部分をどのように補填していくかが今後の課題であると指摘された。
- これに対し、山田理事長より、バナー広告を継続的に 4, 5 社維持していきたいので、バックアップを是非お願いしたいとのコメントがあった。
- 以上、2018 年度決算見込及び 2019 年度予算について審議の結果、これらは全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

4. 次次次期（第 25 回、2021 年度）学術総会会長候補者の件

- 各理事より候補者の推薦がなかったため、山田理事長より、佐藤文俊 次期監事候補（東北大学大学院医学系研究科難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄附講座 特任教授）を次次次期会長に推挙したいとの提案があり、佐藤次期監事候補を全会一致で次次次期会長として承認、評議員会・総会に推薦することが全会一致で承認された。なお、同候補者は本日欠席であるが、快諾されている旨併せて報告された。明日の評議員会、総会で承認を得る。
- また、同理事長より、本年 4 月の理事会で合意された副会長を設けることに関しては文章として規定せず、選任の要否は会長の専権事項とし柔軟に対応していただくとの方針が説明された。

5. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

- 山田理事長より、理事会として、加藤良平（伊藤病院病理診断科 科長）、屋代隆（帝京平成大学保健メディカル学部 健康栄養学科 教授）、そしてご自身（東京脳神経センター病院・間脳下垂体センター センター長）の 3 理事を新名誉会員として推薦したいと提案され、全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。
- 同理事長より、理事会として、池田秀敏 評議員（総合南東北病院）、島津章 理事（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター長）を新功労評議員として推薦したいと提案され、全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。
- 同理事長より、阿部一朗（福岡大学筑紫病院 内分泌・糖尿病内科）、有安宏之（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）、大月道夫（大阪大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）、太山健一（帝京大学医学部 脳神経外科）、黒崎雅道（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経外科学分野）、小嶋基寛（国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野）、田中知明（千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学）、福岡秀規（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）、元井紀子（国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科）、矢澤卓也（獨協医科大学医学部 病理学講座）、

和田典男（市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科）の各会員を新評議員として推薦したいと提案され、全会一致で承認された。明日の評議員会の議を経て総会の承認を得る。

6. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

・ 山田理事長より、下記の各受賞者が報告された。なお、特別功労賞の推薦はなかった。明日の評議員会・総会に報告される。

- 1) 佐野賞：井野元智恵（東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学）
テーマ：下垂体腫瘍に関する病理組織学的研究
- 2) 亀谷賞：小嶋基寛（国立研究開発法人国立がん研究 C 先端医療開発 C 臨床腫瘍病理分野）
テーマ：内分泌病理診断の均てん化、直腸内分泌腫瘍の病理診断

7. 第 22 回（2018 年度）学術総会研究賞の件

・ 第 22 回吉本会長（財務担当理事）より、前回 4 月理事会で承認された選考委員 3 名ならびにその下で選ばれた受賞者について報告があった。明日の評議員会・総会に報告される。

- 1) 研究賞選考委員：選考委員長 吉本勝彦 会長、選考委員 方波見卓行、近藤哲夫、松野彰の 3 理事
- 2) 研究賞受賞者：
 - ① 最優秀賞：加来裕美（佐賀大学医学部 病因病態科学講座）
タイトル：悪性黒色腫の生存、増殖、浸潤における脂肪組織と流体刺激の役割とその制御機構
 - ② 奨励賞：馬越洋宜（京都医療センター 内分泌・代謝内科）
タイトル：原発性アルドステロン症における Aldosterone Producing Cell Clusters の臨床的意義

8. 第 23 回（2019 年度）学術総会の予告

・ 菅間次期会長（企画学術担当理事、杏林大学医学部病理学教室 教授）より、下記の概要が報告された。

テーマ：内分泌病理のここがオモシロい

日 時：2019 年 10 月 4 日（金）～ 5 日（土）

会 場：三鷹産業プラザ

プログラム（予定）：

- ① 特別講演 上村佳孝（慶應義塾大学商学部准教授、2017 年度イグ・ノーベル賞受賞）*昆虫の進化生物学、形態学、繁殖生態学*（座長 加藤良平）
- ② ワークショップ：下垂体病理のここがオモシロい（企画・座長 井下尚子）、甲状腺病理のここがオモシロい（企画・座長 菅間博）、副腎病理のここがオモシロい（企画・座長 笹野公伸）、神経内分泌病理のここがオモシロい（企画・座長 矢澤卓）

③ CPC：企画・座長 田辺晶代、槇田紀子

④ 一般演題（口演、示説、YIPA）

9. 学会ホームページへの企業バナー開設のその後

- ・ 屋代広報担当理事より、帝人ファーマ、ノボノルディスクファーマ、JCR ファーマの3社のバナー広告が掲載済みであることが報告された。

10. 第93回 JES 学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について

- ・ 第93回日本内分泌学会学術総会（2020年6月4～6日、緒方勤会長）の本学会代表プログラム委員の岡本高弘 企画学術担当理事より、理事会メンバーによる特別演題の提案状況が報告された。さらに、同理事より、内分泌学会への提出期限（10月5日）迄の更なる追加提案が要請された。

11. 会費長期未納者の取り扱いについて

- ・ 山田理事長より、本年度末で3年間及び2年間の会費未納者（26名）について、本人へあるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年2月に会費再々請求を行った後、3年間未納者は学会会則第6条に則り退会扱いとなることが報告された。

12. コンサルテーションの現状について

- ・ 近藤渉外担当理事より、本年度上半期のコンサルテーション依頼件数は5件であったことが報告された。（因みにこれまでの依頼件数は、2012年度：1件、2013年度：4件、2014年度：7件、2015年度：7件、2016年度：2件、2017年度：4件）。今年度は、依頼件数を盛り返す状況にあり、この状況を維持して行きたいと述べられた。

13. 第95回（2022年度）JES 学術総会会長の推薦について

- ・ 山田理事長より、第95回（2022年度）日本内分泌学会学術総会会長として、本学会から、大分大学・柴田洋孝 現監事（次期理事）を日本内分泌学会に推薦したことが報告された。

最後に、山田理事長よりの理事長退任のご挨拶、島津、屋代の両理事による退任のご挨拶があり、閉会となった。

以上

（記録：事務局・岩木、理事長・副理事長・筆頭理事・会長：校閲済）